



グローバル通信3月号

外務省地方連携推進室



外務省地方連携推進室
運営ホームページ
[グローバル外交ネット](#)
をご覧ください!!



地方連携フォーラムの開催



見玉 公益財団法人フォーリンプレスセンター理事長による講演



伊藤 山形県米沢市元参与による講演

月27日、地方自治体の国際的取組への支援を目的とする令和4年度地方連携フォーラムがウェビナー形式で開催されました。「コロナ禍を乗り越えて、地方の魅力をいかにして世界に発信するか?」、「地方自治体におけるSDGs推進『持続可能なまちを考える』」のテーマのもと、関連分野の有識者による講演や参加者との意見交換が行われました。

[【地方連携フォーラムの開催】の詳細](#)

日バングラデシュ初の友好都市に向けて(徳島県鳴門市とバングラデシュ・ナラヤングンジ市)



鳴門市役所訪問(泉市長・東市議会議長(当時)他との意見交換)



泉市長とともに



徳島日本バングラデシュ友好協会総会

鳴

門市とナラヤングンジ市は、友好都市関係提携に向けて順調に関係を構築してきました。両市のさらなる関係発展のため、岩間在バングラデシュ日本国大使は2022年12月に鳴門市を訪問し、今後の両市の各分野における交流をテーマに、関係者と意見交換を行いました。在バングラデシュ日本国大使館は、両都市間の関係も含め日本とバングラデシュの地方連携の強化を積極的に支援していきたいとの意向を有しています。

[【日バングラデシュ初の友好都市に向けて\(徳島県鳴門市とバングラデシュ・ナラヤングンジ市\)】の詳細](#)

千葉県松戸市・ドミニカ共和国コンスタンサ市パートナーシップ協定



オンラインによる調印式での市立松戸高校生徒の様子



駐日ドミニカ共和国大使等の観梨梨園訪問



東洋梨育種研究家 田中茂氏とドミニカ共和国関係者による梨の苗木植樹

令

和4年11月30日、松戸市は、ドミニカ共和国コンスタンサ市とパートナーシップ協定を結び、調印式はオンラインで開催されました。両国初の都市間の協定であり、今後、農業、スポーツ、教育、文化、環境の5分野において協力が強化されることが期待されます。松戸市は今後、両国の一つ一つの交流がしっかりと定着するとともに、益々の交流が広がるよう努めていきたいとの意向を有しています。

[【千葉県松戸市・ドミニカ共和国コンスタンサ市パートナーシップ協定】の詳細](#)

東京2020大会前キャンプ誘致が政策連携に進展（佐賀県とフィンランド）



フィンランド大使館でコラボのロゴを披露



フィンランドフェア2023開幕セレモニー



佐賀県使節団のフィンランド訪問

佐 賀県が東京2020大会にてフィンランドの事前キャンプ地になったことを縁に、同国との関係は大きく進展しています。その背景には、交流を連携に発展させたいという佐賀県の取り組みに加えて、美しく豊かな自然環境という、フィンランドとの共通の親和性もあったようです。フィンランドの思想や政策からヒントを得るための佐賀県の様々な活動について紹介します。

[【東京2020大会前キャンプ誘致が政策連携に進展（佐賀県とフィンランド）】の詳細](#)

さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNAグローバルサミット～の開催



サミット登壇者の集合写真



分科会の様子



大宮盆栽美術館で写真を撮る参加者

埼 玉県さいたま市は、昨年11月22日から24日の3日間、国内外の都市と互いに連携し、脱炭素社会の実現に寄与することを目的とした「さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNAグローバルサミット～」を同市内で開催しました。米国ピッツバーグ市、ドイツ・ニュルンベルク市、豪州メルボルン市をはじめ海外9カ国の15都市や、国内22都市や50企業、団体など、300名を超える皆様にご参加いただきました。さいたま市は、本サミットをきっかけに、今後、持続可能な都市の実現に向けた取組の輪が広がっていくことを期待しています。

[【さいたまサステナブル都市サミット～E-KIZUNAグローバルサミット～の開催】の詳細](#)

★地方連携推進室から

・外交実務研修員からの寄稿（石田外交実務研修員）

[【外交実務研修員からの寄稿（石田外交実務研修員）】の詳細](#)

（注）次回配信は2023年4月3日の予定です。

グローバル通信に是非ご登録下さい。

登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック！
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

